



昭和大学歯学部  
昭和大学歯科病院

創立 30 周年

発行責任者  
編集責任者

病院長  
広報副委員長  
本号編集担当

川和忠治  
山本松男  
伊佐津克彦

〒145-8515

東京都大田区北千束 2-1-1 TEL 03-3787-1151

ホームページ: <http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/>

## 小児成育歯科新任教授挨拶

科長 井上 美津子

小児歯科は、文字通り“子どものための歯科”であり、  
お子さんの歯科治療や口の健康管理を主として行う診療科です。

具体的には次のような診療内容を行っております。

- ・子どものむし歯の予防と治療
- ・乳歯から永久歯のはえかわりの時期までの歯並び、  
かみ合わせの問題の相談および予防的対応
- ・乳歯や幼若永久歯の外傷の治療
- ・むし歯のリスクや発育段階に応じた定期的な口腔管理

最近、子どものむし歯は減少傾向が明らかですが、まだ一部には低年齢からの重症なむし歯もみられ、また住環境などから歯の外傷は増加傾向にあります。少子化に伴って、保護者の子どもの歯や口への関心は高まっており、歯のはえ方や口の癖、食べ方の問題などの相談も増えております。お子さんの口に関する様々な悩みを気軽にご相談いただき、適切なアドバイスや対処を行えるよう努めております。

また、大学病院の小児歯科として、専門外来を設けたり、専門的な診療を行っております。

- ・専門外来：障害児外来、唇顎口蓋裂児外来、摂食外来など
- ・歯科麻酔科と連携した全身麻酔下治療や外来での鎮静下の治療
- ・埋伏歯・嚢胞の摘出や小帯伸展術などの外来小手術

このような専門的な診療は、大学病院の特性を活かして、  
歯科病院の他科や医学部の診療科（小児科や形成外科など）と連携をとりながら、安全で質の高い診療を目指しています。

私たちの教室は平成16年より教室名を“小児歯科学教室”から“小児成育歯科学教室”に変更しました。成育とは、人が生まれ、育ち、次の世代を産み出すまでのサイクル、すなわち妊娠期から小児期、思春期、そして成人して出産・育児という次世代育成までつながるサイクルを通じて、子どもの健やかな成長を促すよう、継続的なアプローチをしようという概念です。私たち小児歯科のスタッフはこの概念にもとづいて、親子の“口を通じたこころと身体の健康”をサポートしていきたいと考えています。“食事に関する悩み”なども含めてお気軽にご相談ください。



### 公開講座の予定

昭和大学歯科病院では、皆様にお口の健康を保っていただくのに役立てていただくため、公開講座を開催しています。今秋、平成18年10月28日（土）午後1時より開催の予定で準備を進めています。次号の昭和大学歯科病院便りにて詳細をお知らせする予定です。

## 口腔の健康から全身の健康を見直そう。

歯周病治療の開始とともに禁煙を始めませんか

歯周病科 伊佐津 克彦

歯周病は日本では80%以上の成人が程度の差はあるものの罹患している身近な病気です。そんな歯周病に対して喫煙は際立ってハイリスクです。喫煙者は非喫煙者に比べ2～8倍の危険度で歯周病にかかりやすく、ヘビースモーカーほど歯周病の進行は急速に進みます。その他にも喫煙は、不快な口臭、味覚の鈍麻、歯肉の黒色化や歯面の着色など口腔環境を悪化させます。

### ● 喫煙者は歯周病の症状に気づきにくい！

タバコに含まれている化学物質が喫煙者の歯肉からの出血を減少させ、歯肉表面を硬くすることで歯周病の症状が隠されてしまいます。

### ● 喫煙者では歯周病の治りが悪い！

歯周病の進行に応じて様々な治療が行われています。しかしながら、どのような歯周治療に対しても喫煙者では治りが悪いことが報告されています。

最近よく耳にする言葉に肥満、特に内臓脂肪型肥満に基づく“メタボリックシンドローム”というものがありますが、代謝異常症候群とも呼ばれ、高血圧・高血糖症・高脂血症などを誘発すると言われています。歯周病は、これら高血圧・高血糖症・高脂血症と同様に、初期には自覚症状がでにくいいため放置されることが多い生活習慣病で、その共通の危険因子として喫煙があげられます。

そればかりではなく、歯周病そのものが糖尿病や心筋梗塞や低体重時出産、早産などの発症と関係することも示す報告も増えてきました。喫煙している歯周病患者では、これらの病気にかかる危険がいっそう高まります。

喫煙は「病気の中で予防できる最大かつ単一のもの」(WHO)です。

タバコをやめれば歯周病を含め様々な病気のリスクが著しく低下し、タバコを吸わない周囲の人に対する危険も減ります。歯周病だけのためではなく、全身的な健康のためにも、また家族の健康のためにも1日も早い禁煙をおすすめします。

お口の話から全身の健康にも関心が高まれば幸いです。

## 昭和大学歯科病院によせられた「患者様の声」と改善結果

ご意見・ご要望	回答・改善等
診療台の口ゆすぎ用の水がかなり臭い。	メーカーに依頼し点検整備しフィルター交換を行いました。今後、点検回数を増やし対応したいと考えております。
車椅子用駐車場のスペースが狭い。運転席からの乗り降りがとても困難。	現状、諸事情により改修が困難な状況です。駐車場に前方から駐車されると踏み板が逆になり乗り降りし易くなりますが、自家用車で来院された場合は、守衛室または管理課にご相談下さい。
電話がスムーズにかかる様に出来ませんか。	交換手・回線数を増やすなど努力しておりますが、特に午前中混み合っており、ご不便をお掛けしております。なるべくこの時間帯を避け再度ご連絡をお願い致します。
受付の方が怖いです。笑顔がなく患者を威圧している感じがあります。	職員の接遇教育を毎年実施しております。最近、受付に派遣社員を配置しました。今後、派遣社員を含め、接遇・マナー教育を推進したいと考えております。
小児歯科のおもちゃが少なすぎて、子供が待ちきれない事がよくあります。増やして頂けないでしょうか。	おもちゃは、なめたり口に入れたりする可能性があるため、衛生面・安全面で十分な配慮が必要です。現在、絵本などの書籍・小児向けDVDビデオ等数の充実を図りたいと考えております。
売店で薬を購入する時、1階ではなく地下1階売店に行かなければなりません。1階の売店で購入できませんか。	売店での薬品販売は薬事法第24条第1項の規定により、管轄保健所長が発行する「医薬品販売業許可書」許可を受け販売することが許可されております。場所・設備環境等厳しい制約があり、1階での販売許可がおりません。ご不便をお掛けしますが宜しくお願いします。
歯磨きコーナーの後ろに仕切りが欲しい、他の人の視線が気になります。	仕切りを付けると通路が狭く成り消防法違反と成る為、現状では付ける事が出来ません。何か工夫できないか検討致します。

その他、色々ご意見を頂いております。貴重なご意見ありがとうございました。患者さまのご意見・ご要望は原文に近く掲載するように心掛けていますが、一部編集させて頂く場合もございます。ご了承下さい。